

1. 課題の背景

- (1) 近年の温暖化に伴い登熟期が高温傾向であることから、高温に対応した栽培技術対策を徹底し、高品質・良食味米の安定生産を行うことが重要。
- (2) 富富富は、需要に応じた生産量を確保するため、作付面積拡大と単収の向上による安定生産が急務。
- (3) 中食・外食等の需要者の多様なニーズに対応するため、「業務用米」及び「酒造好適米」の栽培技術の確立が必要。
- (4) JA富山市とJAなのはなは、県内の水稻種子の28%を生産しており、県内外から信頼される高品質な種子の安定生産が必要。

2. 主な普及指導活動

(1)高品質な米づくりの推進

各JAの米品質向上運動を活用した重点技術対策指導

【主な重点技術対策】

- ①コシヒカリでの5月15日を中心とした田植えの実施と初期生育の確保
- ②稲体の活力を維持するため、生育ステージに応じた水管理の実施と葉色等の生育診断に基づく適期に適量の追肥
- ③斑点米カメムシ類等の病虫害防除の徹底
- ④適期刈取と適切な乾燥調製による胴割米発生防止



米の品質向上技術研修会

(2)富富富の作付面積拡大と安定生産の推進

- ①生産拡大推進大会の開催や個別巡回等による作付面積の拡大
- ②現地研修会の開催や生育状況に合わせた栽培管理指導
 - ・基肥量の見直しや水管理指導による適正な生育量への誘導
 - ・胴割米発生防止のための適期刈取等

(3)実需者ニーズに対応した米づくりの推進

業務用米（ゆうだい21、つくばSD2号）及び酒造好適米（五百万石、富の香、山田錦）の安定多収栽培指導

- ①研修会の開催及び生育状況に応じた情報提供
健苗育成と適切な水管理による初期生育の確保等
- ②現地栽培管理巡回
葉色診断による穂肥対応等

(4)高品質な水稻種子の安定生産の推進

- ①JAと連携した適正な栽培管理技術と適期刈取や乾燥の指導
- ②圃場審査（1筆2回以上）と生産物審査（発芽率調査等）

3. 成果の概要

(1)高品質な米づくり

- ・令和6年産うるち玄米1等比率は、前年に引き続き登熟期の高温に見舞われたが、適切な水管理や追加穂肥等に取り組まれた結果、前年産より高くなった。

うるち玄米1等比率(%)	JAアルプス	JAあおば	JA富山市	JAなのはな	富山管内	県
令和6年産	92.2	84.6	78.1	95.5	91.0	90.7
令和5年産	53.8	59.1	39.9	41.4	50.5	62.2

(2)富富富

- ・令和6年産の作付面積は831ha（前年比130%）で栽培された（県全体の35%）。
- ・基肥量が不足していること等から各地域とも単収は伸び悩んでいる。

	JAアルプス	JAあおば	JA富山市	JAなのはな	富山管内	県
作付面積(ha)	446	114	135	136	831	2,355
単収(kg/10a)	438	449	445	483	—	—

(3)業務用米及び酒造好適米

- ・中食・外食のニーズに対応し、業務用米の作付面積は増加傾向。
- ・初期生育が確保できていないことや肥料の溶出が生育に合わないことから目標とする収量が確保できていない。

	業務用米			酒造好適米	
	JAアルプス	JAあおば	JA富山市	JAアルプス	JA富山市
品種名	ゆうだい21	つくばSD2号	ゆうだい21	富の香他	五百万石
作付面積(ha)	49	512	129	22	25
単収(kg/10a)	439	436	440	304	438

(4)水稻種子

- ・適正な栽培管理により水稻種子契約数量達成率は、概ね100%を確保。

合格率(%)	R4	R5	R6
JA富山市	96.2	93.8	102.3
JAなのはな	99.5	99.3	97.3